JSIBD
Japanese Society for Inflammatory Bowel Disease

第17回日本炎症性腸疾患学会学術集会
ランチョンセミナー 4

S1P受容体調節薬
ベルスピティ錠の話題を中心に

ベルスピティの効能又は効果：中等症から重症の潰瘍性大腸の治療（既存治療で効果不十分な場合に限る）

日　時 2026年11月28日(土) 12:20-13:10

会　場 第1会場 アクロス福岡 B2F イベントホール
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号

現地開催とWEB開催（LIVE配信）のハイブリッド開催となります。
詳細は学術集会WEBサイトをご確認ください。

司会 **猿田 雅之 先生** 東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 主任教授



講演 1 12:20▼12:45

リンパ球トラフィッキングを標的とするUC治療
～エトラシモドの作用機序と導入の実際～

演者 **松本 吏弘 先生** 自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科 教授



講演 2 12:45▼13:10

潰瘍性大腸炎治療における
ベルスピティ錠のポジショニング
―有効性・安全性・実臨床から考える最適使用―

演者 **山本 隆行 先生** 四日市羽津医療センター 院長 兼 IBDセンター長



ご参加の皆様には、お弁当をご用意しております。（数に限りがあります）

共催：第17回日本炎症性腸疾患学会学術集会／ファイザー株式会社

スフィンゴシン 1-リン酸受容体(S1P1,4,5)調節薬 基礎基準未収載
ベルスピティ® 錠2mg
Velsipity® Tablets 2mg エトラシモド・ピバルギニン錠

Etrasimod is an oral, once daily, selective sphingosine 1-phosphate1,4,5 (S1P) receptor modulator for the treatment of moderately to severely active ulcerative colitis*
*INDICATIONS in Japan: Treatment of moderate to severe ulcerative colitis (only in patients who have had an inadequate response to existing therapies

VEL92Q0015A
2026年10月
ファイザー株式会社 作成